

会議顛末書

						記 録 者	徳安 柚花	
供 覧	教 育 長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 係	査 長	グループ員
件 名	令和6年度第1回子ども読書活動推進委員会会議							
年 月 日	令和6年6月28日（金）							
時 間	午後1時30分～3時							
場 所	龍ヶ崎市役所本庁舎5階 全員協議会室							
出 席 者	<p>【委員】 坂本委員、飯塚委員、佐子川委員、伊東委員、石塚委員、長谷川委員、堀端委員</p> <p>【図書館指定管理者】 米川館長、海老原児童総括</p> <p>【事務局】 〈文化・生涯学習課〉松崎課長、清水課長補佐、由利係長、徳安主事 〈教育総務課〉友部主事 〈指導課〉山中課長補佐 〈こども家庭課〉木村課長補佐 〈健康増進課〉大久保課長 〈障がい福祉課〉唯根課長補佐</p>					傍 聴 人 数	0 人	
事務局 (徳安)	1 開会 会議の成立（10名の委員のうち7名が出席し、龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会条例第6条第2項に規定している委員定数の過半数以上の出席）							
事務局 (松崎)	2 課長あいさつ							
事務局	（委員の紹介） （事務局、担当課等の紹介）							
議長	3 議 事 ※議長：龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会条例第5条第2項により会議の議事進行について、飯塚委員長が会議の議長を務める。 （議事録署名人として長谷川委員を指名。各委員異議なし）							

議長	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>次第に従いまして、「第四次龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画 令和5年度取組実績報告」について、各担当課より説明をお願いします。</p>
担当課等	(資料に基づき説明)
議長	<p>各課担当の皆様説明ありがとうございました。</p> <p>それでは質疑に入ります。ご質問やご発言をお願いいたします。</p>
佐子川委員	<p>出前講座と学童への配送はどちらも8か所とありますが、これらのサービスを利用しているのは同じところなのでしょうか。学童は全部で11ルームあるはずですが、使っていないところがあるとしたらそれはなぜなのか、図書館で把握はしていないかもしれませんが、意識の問題なのか、それともそれ以外の理由があるのか、何かご存知でしたらお願いします。</p>
市立図書館 (米川)	<p>夏休みの学童への出前講座については、図書館の職員3名が出前講座のために出向くのですけれども、時間や人数に限りがありまして、令和5年度の夏休みには8校から申し込みがあったのですが、そのうちの2校は次の年に後回しとなり、令和6年度に優先して出前講座を行う予定となってしまっています。</p> <p>学校の配送については、事前にFAXでレファレンスをいただいた学校に配送するので、満遍なく申込をいただいています。配送を始めたことで中学校からの申し込みがすごく増えたように思います。</p>
佐子川委員	<p>貸出配送は頼んでいないけれど、出前講座は頼んでいるというようなところもあるということですね。ちょうど8校という数字が同じだったものだから、それらが同じところなのかなと思ひまして質問させていただきました。</p>
議長	<p>出前講座の具体的な内容として、どんなことをしているのか紹介していただけますか。</p>
市立図書館 (米川)	<p>小中学校の3校については、学校の希望するテーマでおはなし会を行っています。</p>
市立図書館 (海老原)	<p>夏休みの学童保育ルームの出前講座につきましては、大型絵本、パネルシアター、大型紙芝居など、夏休み中もお子さんが楽しめるように、10分から30分のプログラムを作って実施しています。</p>
議長	<p>出前講座に行く職員が3人だとお聞きしましたが、そうするとどうしても限界があるってということですかね。もっともっと出前の依頼があった場合はどうするのでしょうか。</p>

<p>市立図書館 (米川)</p>	<p>出前講座は図書館の繁忙期でもある夏休みに行くことが多く、その時期には児童専用レファレンス窓口や理科先生など、中央図書館でもイベントをたくさん行っています。そうすると、人数に限りがありますので、1週間に1回程度で出前講座を行っているところです。</p>
<p>議長</p>	<p>出前講座をボランティアに頼むことは考えていませんか。夏休みにイベントをすることは大事ですが、家にいるときにタブレットやYouTubeを見ている子供たちがすごく多いので、保育ルームで少しでも多く本に触れる機会を提供することが大事だと思います。職員の方が3人でとても大変だと思いますので、ボランティアをお願いすることができないのかと思いました。</p>
<p>市立図書館 (米川)</p>	<p>出前講座の担当者3人で事前に改善点や選書についてすごく綿密に打ち合わせしているものですから、今のところ、外部のボランティアを含めて出前講座を行うということには考えがおよんでいませんが、今後、検討してみます。</p>
<p>佐子川委員</p>	<p>今の話につけ加えますが、以前は個別に各学童からボランティアに夏休みの読み聞かせの依頼がありました。それが、図書館が学童への読み聞かせをするようになりましたので、ボランティアには声がかからなくなったのだと思います。事前の打ち合わせももちろん必要なので大変だと思うのですが、現状だと図書館ボランティア1人頭の担当回数が少ないので残念に思っている人がいると思います。なので、図書館を主体に、ボランティアを混ぜてできるのかなと思いました。</p>
<p>佐子川委員</p>	<p>ブックスタートの参加者とその中で図書館カードを作成した人数が出ていますが、コロナ禍の前後で図書館カードの作成率に差が出ているのでしょうか。</p>
<p>市立図書館 (海老原)</p>	<p>コロナ禍前はブックスタートの参加者に口頭で図書館カード作成の案内をしていたのですが、今は事前の申込書類に作成の旨を書いている場合にのみ声をかけるようになりましたので、少し減ってはいるのかと感じています。</p>
<p>石塚委員</p>	<p>「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」ですが、近隣の市町村に比べて、龍ヶ崎市の達成率はどうなのでしょう。</p>
<p>指導課</p>	<p>県が市町村から収集したデータを見られないものですから、近隣の達成率は県では把握していると思いますが、龍ヶ崎市としてはわからないのが現状です。ただし市内の達成率は独自に学校の方から報告してもらっています。</p>
<p>石塚委員</p>	<p>龍ヶ崎市の達成率はコロナ禍で増えましたか、それとも減りましたか。</p>

指導課	あまり変わらない状態です。
長谷川委員	市立図書館司書の研修の参加実績が達成目標を大きく上回っていて、研修に多く参加されているなどと思います。前回の会議の中間報告では、研修の成果の生かし方についてはこれからということでしたが、読書活動を推進していくための研修会の予定があれば教えてください。
市立図書館 (米川)	<p>ボランティアや学校図書館司書に向けて、学校読み聞かせボランティアの研修会を毎年行っているところです。県立図書館が主催する研修会についてはこちらから内容のリクエストはできますが主導は向こうですので、自前の研修会についてお答えします。</p> <p>毎年担当職員が学校ボランティア向けの研修内容について事前に調整して、絵本の選書や子供達が聞きやすい技法などをテーマに、おはなし会に役立つように研修内容を考えています。</p> <p>図書館司書向けの研修会については、年度始めの学校図書館司書との全体会に参加して、どのような研修を希望しているのかという情報を入手して研修テーマを決めています。</p> <p>読み聞かせボランティア向けの研修会では、情報交換も含めて、楽しく続けていける内容を考えているところです。</p>
長谷川委員	25回も研修に参加していてすごいなと思います。これからそういうボランティアの活動なども活かしていただけたらと思います。
伊東委員	SNSで展示の内容を発信しているということですが、なんのツールを使って発信していますか。
市立図書館 (米川)	展示の内容やイベントなど、エックス(X)を使って発信をしています。以前のTwitterです。
伊東委員	エックスは40～50代のメインツールとなっており、今の小中学生が使っているのはTwitter、TikTok、LINEなどと思いがちですが、今はほとんどTikTokをLINEのように情報交換に使っているそうです。ですので、子どもに向けて発信するには、エックスではなくInstagramの方がまだ小中学生が見るのかと思います。
議長	坂本委員に中学校のお立場からお聞かせいただけますか。
坂本委員	中学校の方では「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」の冊数が増えないことを申し訳なく思っています。龍ヶ崎中学校では朝読を毎日行い、図書室の方でも毎月イベントを行ったり学級文庫として各学級に本を置いて、1ヶ月に1回冊数を入れ替えるなど手は打っているのですが、読んではいても記録していなかったり記録をとる時間がなかったりして、数値が伸びていないと

	<p>ころもあるのかなと思います。これからも子供たちが読書に取り組めるような手だてをうってあげればと感じています。図書館から電子図書館の案内をいただいていますので、検討して取り入れてあげればと思います。</p>
坂本委員	<p>龍ヶ崎中学校は図書館のすぐ隣になるのですが、なかなか足が向かないようです。SNSの話もでたように、子どもたちに発信していただけたらありがたいです。いつもたくさんしていただいているのに更に要望してしまって申し訳ないのですが、楽しいイベント等を告知いただければと思います。</p>
堀端委員	<p>令和5年度第1回の会議では実績報告と取組計画が議題でした。今回は実績報告だけになっていますが、何か理由がありますか。</p>
事務局 (由利)	<p>令和5年度は、実績報告が第三次計画に基づくもので、事業計画が第四次計画に基づくものということもありましたので、いっぺんに二つの議案を出しましたが、今年度は第四次計画になってから一年が経ちましたので、まずは前年度の振り返りということで、取り扱いをさせていただきました。</p>
堀端委員	<p>児童専用レファレンスの内容について、夏休みの読書感想文に関連しているのかなと思いますが、それ以外に何かあれば教えてください。</p>
市立図書館 (米川)	<p>読書感想文でどんな本を読んだらいいかという問合せが一番多く、あとは夏休みの自由研究に関することや、また、学校からの宿題となっている統計グラフについての問い合わせも数件ありました。</p>
堀端委員	<p>資料からは離れますが、長く委員をやってきましたので、所管を述べさせていただきます。</p> <p>今回の資料もほとんどの項目で目標を達成しています。これらは皆さんの努力の成果だと思いますが、もっと目標設定を高くして、今年度は達成できなかったが2～3年後には達成するといった目標を設定していくことは考えられないのかなと思います。目標設定がクリアできないことで問題点や課題が見えてきて、また別の角度から見るができると思うのですがいかがですか。</p>
事務局 (清水)	<p>ご意見ありがとうございます。目標につきましては、可能な水準から少し上を目指して設定しているところです。ご意見を踏まえながら、検討させていただきます。</p>
堀端委員	<p>目標をクリアするというのも大事ですが、自治体の役割として大事なことは、関係諸機関の連携や協力など、定量的でなくて定性的、縦断的なものでなくて横断的なもの、そういう取り組みが必要だと思います。そういうところを議論するには、目標設定を高くして活動したほうが子供たちのためになるのではないかと思いますがいかがでしょうか。</p>

事務局 (清水)	堀端委員のおっしゃるように、先を見据えた2、3年後といった目標も大事なことだと思います。今回、そういったご意見もいただきましたので検討させていただきたいと思います。
堀端委員	最後になりますが、私がこの推進委員会委員に応募した理由は、子どもたちの読書環境を整えるため、自分に何かできないかなと、推進に向けて資することはあるかな、ということで応募したのですが、自分の努力不足といいますが、思ったより資することができなかったなど反省をしています。
議長	<p>前向きなご意見ありがとうございます。最後のお言葉は私もなにかしたいなど思いながら伴わないという同じ反省を持っておりますので、本当に申し訳ないと思っております。けれども、こうしてともに会議の机を囲んでいただくことによって、市全体の読書活動は進んでいると思います。委員の皆さん、特に公募の皆さんがここにいてくださることが私はとてもありがたいことと思っております。ありがとうございます。</p> <p>伊東委員から、報告を受けての感想や就学前のところについて、ご意見を願います。</p>
伊東委員	やはりコロナが大きな転換期となり、就学前の子供たちの電子化が進んだと思っています。公園が閉鎖されて遊ぶ場がなくなった子供たちは家にいるしかなかったのですが、その子達は読書でもおままごとでもなく、携帯を触っていたようです。今は親もまったく悪いと思うことなく0歳児にもスマホに触らせています。食事の際も、テレビやスマホで「ながら食べ」をしています。読み聞かせもデジタルで行っているそうです。時代が大分変わってきましたが守るべきものは守らなくてはならないと考えています。市内の本屋も減ってきていますので、図書館やコミュニティセンターがもっと地域の中核として町の本屋のようになると、自然と全体の読書活動の底上げになるのかなと思います。
議長	<p>ありがとうございました。伊東委員のおっしゃったことは決して大きなことではないということは私もこども園の園長として同じように考えています。そういう状況で何か改善に向けたことができるのではないかという感想を持っております。</p> <p>プレパパ・プレママの話の中で、そもそも結婚したいと思う人の数が減っているということも考えました。高校生或いは大学生のときに、読書会や読み聞かせなど、子どもたちに読み聞かせをする体験をしてみるとか、将来をイメージできるような取り組みをしてもいいのかなと思っています。</p> <p>石塚委員から高校生の段階での取り組みなど、今の現場の話をお聞かせいただいてもいいですか。</p>
石塚委員	本校の保育福祉コースの家庭科の授業の中で、そういったことも話題に触

	<p>れる時があります。また、学校で取りそろえた絵本の中から、生徒は自分が小さいときに親や先生から読んでもらった絵本をすぐに見つけて手に取っているのを見ました。読み聞かせの経験は心の中に栄養として育まれてきたもので、読書のいい経験をしてきたことを次の世代にバトンを渡していくんじゃないかなと日々感じているところです。</p> <p>本との触れ合いはさせていると思いますが、タブレットでの学習が進んでいますので、図書室に行って調べ学習をするよりも手元にあるタブレットを使って調べ学習をしてしまっていて、図書室も使いこなしてほしいと思っていますし、簡単に調べられてしまう便利さの心配はあります。</p>
健康増進課	<p>市全体として少子化対策にも力を入れている中で、高校生など若い子達に将来設計を立てる講座を行い、結婚とか出産とかをイメージしてもらい取り組みも考えているようです。</p>
議長	<p>ありがとうございます。皆さんからご意見等いただきました。</p> <p>担当課の皆さんから今までの話を聞いて思うところや補足など、ぜひお願いします。</p>
事務局 (清水)	<p>保育所や幼稚園などで小さい子供たちが絵本に触れる機会を作ってくれていると感じています。図書館でも幼児向けの事業をやっています。指導課の「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」の結果を見ると、30冊、50冊以上も読書しているのはすごいなと感じています。ただ読まない方たちに向けては、雑誌とか漫画とかから入っていただけたらとも思います。</p> <p>そのような中で、龍ヶ崎の偉人であるパンを発明した木村安兵衛のマンガを文化・生涯学習課で作成しまして、小学校4年生の副読本として配布いたしました。子どもたちの関心に繋がるようにしまして、関連図書も図書館や歴史民俗資料館で取りそろえておりますので、読書の入口として使っていただければと考えております。</p>
教育総務課	<p>小中学校の1人当たりの貸出冊数が大きく減少したことについて、中学校の状況を学校図書館司書の方から聞かせていただきました。</p> <p>先生も生徒もタブレットの利用が普通になっていて、図書館の調べ学習等の利用が減っているそうです。また、小学校と違って読書の時間が少ないこと、図書室の利用時間が限定されていることも図書室の利用低下につながっているようです。また、図書館だよりを保護者への情報配信に変えたことで図書館の情報が生徒の目に触れる機会が減ったそうです。</p>
こども家庭課	<p>さんさん館子育て支援センターでは、保育士の有資格者が読み聞かせをしています。育児の相談に来られた方もいらっしゃいますので、そういう方にも読み聞かせに入らせていただいて、こうした時間を含めて相談に応じさせていただいています。</p>

障がい福祉課	<p>環境的な要因なのか、子どもの苦手なことから困った状況になっているのか判断が難しい就学前のケースが多くなっています。生活リズムが崩れて食事の時も会話がないうちが多く、言葉の遅れがある子供がいます。小さいときに経験したことが積み重なっていく成長期に、絵本が担う役割は重要であると思います。</p>
指導課	<p>小中学校の状況はわかるのですが、就学前や高校の状況も聞いて参考になりました。小中学校では環境を整えて頑張ってくれています。読書が好きと答えた児童生徒の割合が小学生も中学生も70%に届いたということが努力の結果であり、7割の生徒が本が好きだと答えるのはすごく大きな成果だと思っています。一冊の本推進事業の方は達成できていませんが、心の底で本が好きだと思ってもらえるのは幸せなことだと思いますので、子供たちに本と触れ合う機会をこれからも整えていきたいと思いました。</p>
健康増進課	<p>コロナ禍の影響が非常に大きいとされていて、接触を避けたり会話を控えるためにマスクをしていたりしたことが子育てにも影響しています。母親の口元がマスクで隠れてわからないことで起こる言葉の遅れに悩む親御さんが非常に多く、相談事業を強化しているところですが、読み聞かせは非常に大事なことです。力を入れていかななくてはと感じました。</p>
市立図書館 (米川)	<p>皆さんからの貴重なご意見や、小中学校、高校の状況を聞いて、各課の情報を参考にさせていただくことができ勉強になりました。今日のことを糧にして、また日々読書活動に励んでいこうと思います。</p>
議長	<p>今日は本当に皆さん、ここまでご発言いただいて本当にありがとうございます。皆さんお忙しい状況ですので、同じ市役所でも課を超えて連絡を取るの難しいところもあると思いますが、この会議は関係者皆がそろう場所ですので、報告を聞いて終わるのではなく、みんなで話題を分かち合えればよいと思って進めさせていただきました。せっかく集まっているので、お互いに連携をとれればと思っています。</p> <p>私は茨城県の少子化対策委員もしていますが、子どもを産みたくなる社会整備というのがキーワードになってきています。そのため、高校生のうちから自分が親になっている姿をイメージして大人になっていくといった流れが非常に大事だと話し合っています。読書活動の部分でも、プレパパ・プレママの読み聞かせを高校生に体験してもらおうとか、私たちの施設に高校生が読み聞かせに来てくれるとかができればと思っています。</p> <p>それと無茶なことを言いますと、読み聞かせは単なる本だけじゃなくてそれを読んでいる人との出会いという、人と人をつなげるものであるとも思っています。そういった意味では、市役所の人にボランティアに行ってもらったらいのではないかとも思います。お忙しい中、担当されている業務で手一杯とは思いますが、読書については、市全体で大事にしていけたらと思います。</p>

<p>議長</p> <p>議長</p> <p>事務局</p> <p>議長</p>	<p>活発なご意見、ご感想ありがとうございました。</p> <p>それでは、特にご質問がないようでしたら、第四次龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画令和5年度取組実績報告について承認したいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>4 その他</p> <p>次にその他に移ります。</p> <p>事務局から連絡事項等ありませんか。</p> <p>特にありません。</p> <p>5 閉会</p> <p>他に連絡事項等がなければ、これで令和6年度第1回子ども読書活動推進委員会を閉会いたします。</p> <p>慎重なご審議、ありがとうございました。</p> <p>令和6年6月28日に開催された龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会会議の内容については、上記のとおり相違ありません。</p> <p>令和6年 7月 日</p> <p>議事録署名人</p> <p>_____</p> <p>議事録署名人</p> <p>_____</p>
<p>要措置事項</p>	
<p>情報公開</p>	<p><input type="checkbox"/> 公 開</p>

情報公開	公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	（龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当）